

TOEFL®テスト

難易度	中級～
最短学習期間	6ヶ月以上
中大生人気学部	学部問わず

WORK CONTENTS

TOEFLテストは、アメリカ・カナダを中心とした大学で「授業についていける英語運用力があるかどうか」を測るためのテスト。パソコンを使ったインターネット試験の形式で、スピーキングやライティングを含む4技能のマルチタスクが試される。ITPは、過去のペーパー版TOEFL問題を使い学校向けに団体のみで実施。院試の英語テストや学内英語共通試験、交換留学選抜などに採用されています。

TOEFL® iBTテストを理解するための3つのポイント

- 1 テストの形式パソコン使用。高い負荷かかる**
パソコンでヘッドセットをつけて行きます。入力はキーボード。スピーキングもあるマルチタスク型のテスト形式という難物です。
- 2 リスニングセクションの配分が全体の50%**
今まで受けてきた英語のテストでここまでリスニングの割合が多いものはなかったはず。「音を制するものがスコアを上げる」を意識しておきましょう。
- 3 学習のポイントは基礎力+発信力**
OUTPUTタスクでは英語を考え、作って発信する力が問われます。実践形式で発信の負荷をかけるトレーニングを積みましょう。

各パートの形式

iBTテストの問題形式は以下のように、ITPとは全く異なります。発信型スキルを試されるiBTでは十分時間をかけて発信力を鍛えましょう。「聞いて書く」「読み、聞いて話す」という複合スキルを問われる問題が多いので、特に後半のS、Wセクションでは実践に近い形での練習が必要です。

〈TOEFL iBT / 4セクション計最長約4時間半〉

Reading	3～5パッセージ (700語程度)各12問～14問	60分～ 最長80分	★★
Listening	長い会話×2～3本、各5問 講義×4～6本、各6問	60分～ 最長90分	★★
Speaking	Independent Tasks×2問 意見・好み・理由など Integrated Tasks×4問 要約・質問に答える、など	6問 約20分	★★★★
Writing	Integrated Task 要約(150～220語程度) Independent Task 意見を作文(300語程度)	2問 20+30分 計50分	★★★★

TOEFL® ITPテストを理解するための3つのポイント

- 1 テストの形式基本はペーパー**
過去のペーパー版TOEFLテスト問題を使用。リスニング、文法・語法、リーディングで構成され、INPUT&処理能力が問われます。
- 2 文法・語彙あり。長文は長い**
基本的な文法・語彙セクションもあるので復習を。リスニングはTOEICと似てスピード勝負。長文は学術的な内容が多く、長いものが多いです。
- 3 学習のポイントは語彙力増強と長文処理能力**
TOEICよりもアカデミックな語彙力が要求されます。時間をかけて増やしていくしかありません。長文問題は速読力がキーとなります。

各パートの形式

ITPテストの問題形式と設問の数、1問あたりの回答時間の目安は以下のとおり。★印はパート別の難易度を示している。試験日までの期間が十分あるなら、模試を解いて自分の得意不得意を「英語力」「受験力」の両方の面から確認し、バランスよく力をつけていけば万全です。

〈TOEFL ITP / 3セクション計115分〉

Listening	Part A 短い会話×30本 Part B 長い会話×2本 Part C ミニトーク×3	50問 35分	★～ ★★
Structure & Written Expression	Structure 穴埋め×15問 Written Expression 間違い探し×25問	40問 25分 1問平均 35秒	★
Reading	長いパッセージ×5セット 合計50問	50問 55分 1パッセージ 平均10分	★★

参考 TOEFLテストとTOEICテストのスコア関連チャート

TOEFL iBTとITPはセクションの構成、スコア算出法が全く異なります。
iBT100/ITP600/TOEIC810超えレベルを目標としましょう。

TOEFL iBT	46	61	80	100
TOEFL ITP	450	500	550	600
TOEIC	380	590	660	810

ココで合格! 生協取扱スクール一覧

	イーオン	ECC
	通学	通学